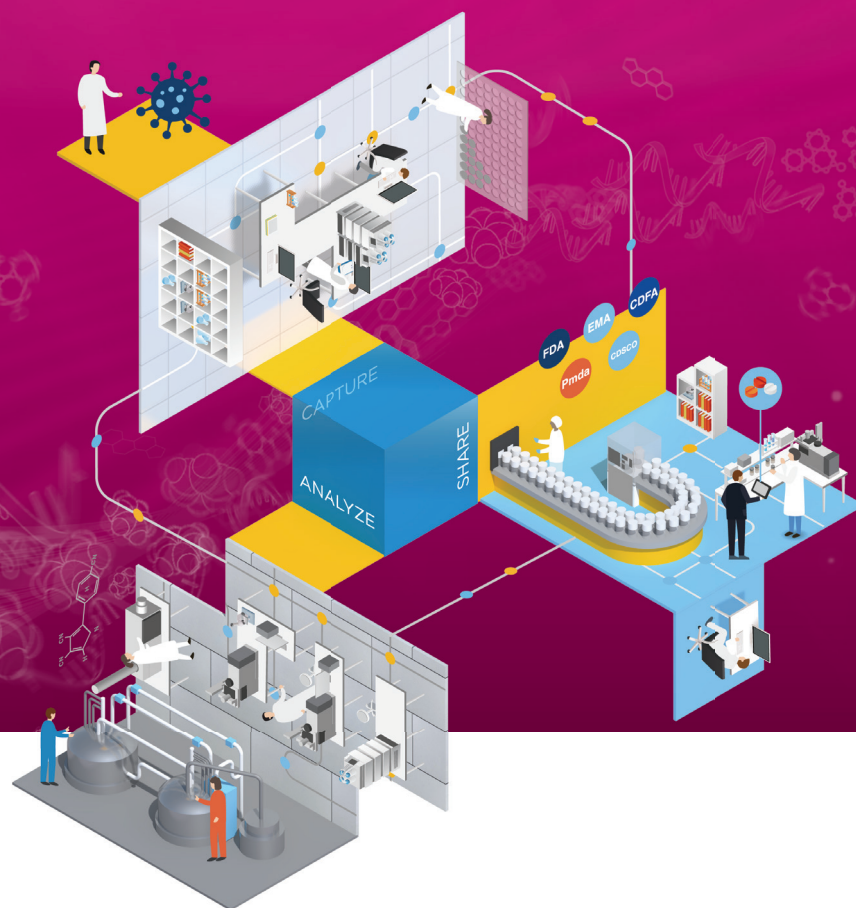




Agilent OpenLAB クロマトグラフィーデータシステム (CDS)

Agilent
OpenLAB

コンプライアンス準拠と使いやすさを同時に実現



Agilent Technologies



新しい高機能なソフトウェア ラボのニーズに合わせた設計

アジレントはラボ機器の最先端の企業として、医薬品の品質管理を長年サポートしてきました。アジレントは、長年にわたりデータの完全性に関する規制実施の進化を見てきており、ラボと分析の順調な運用維持に必要な要素について理解しています。

アジレントが次世代の OpenLAB クロマトグラフィーデータシステム (CDS) を開発した理由はここにあります。この高機能なソフトウェアによって、ネットワーク化された環境やスタンドアロン環境で確実にコンプライアンスに準拠できます。また、効率性と生産性を維持しながら、アジレントの機器を全体的に制御できます。

科学者の声

「ラボでは新しいスタッフの参加や入れ替わりがあるため、誰でも機器をすぐに操作できるような、直感的に使用できるソフトウェアがあると助かります。」

コンプライアンスへの準拠

確実な規制遵守

アジレントは、コンプライアンスに対して真剣に取り組んでいます。規制ガイドラインの遵守が必要なお客様のニーズの変化に、常に対応しています。アジレントはお客様と緊密に連携して、お客様のラボが常にコンプライアンスに準拠し、規制違反のリスクを最小限に減らすことができる機能を提供します。

データセキュリティの確保

OpenLAB CDS を使用すれば、データのセキュリティと完全性を技術的に制御できます。このため、手順管理の必要性を最小限に減らして、データの削除や改ざんを防ぐことができます。

慎重なアクセス制御

OpenLAB CDS では、ユーザーの役割や各ユーザーがアクセスできるデータに基づいて、アクセス権限を割り当てることができます。このため、ユーザーとそのアクセス権限、およびアクセスできる情報を適切に設定できます。

監査証跡レビューの簡素化

規制では、監査証跡レビューを含む記録を確認する必要があります。他のベンダーのクロマトグラフィーデータシステムを使用した場合、記録を組み合わせる必要があり、監査証跡レビューの印刷、署名も必要です。OpenLAB CDS を使用すれば、電子記録の一部として、監査証跡レビューの確認と文書化を行うことができます。



運用上の機能強化

習得期間の短縮

このソフトウェアは使いやすさを重視して設計されています。最新のソフトウェアのユーザーインターフェースが組み込まれており、簡単かつ確実に操作できます。使いやすいインターフェースとオンデマンドの学習ツールが搭載されているため、スタッフがすぐに操作方法を習得でき、トレーニングの時間とコストを最小限に減らすことができます。

1つのラボに1つのソフトウェアシステム

OpenLAB CDS は、クロマトグラフィーと質量分析のワークフローをサポートしています。1つのユーザーインターフェースから、ラボの最も汎用的な LC、GC、シングル四重極の Agilent MS 機器にアクセスして制御できます。このような多用途性によって、複数のソフトウェア製品の操作に必要な専門知識が不要となるため、生産性を上げることができます。

操作の一元化による時間の節約

さまざまな装置の状態を確認することは、手間と時間のかかるプロセスです。OpenLAB CDS をクライアント/サーバーで使用すれば、機器とシステムを一元的に管理して、ラボの効率と稼働時間を最大限に上げることができます。また、複数の場所からのデータとメソッドを共有して、生産性を上げ、グローバルなラボ運用をサポートすることもできます。

結果傾向の迅速な視覚化

通常の作業中に、詳しい調査が必要な予想外の事態が発生して、複数のクロマトグラムを同時に慎重に解析することが必要となる場合があります。OpenLAB CDS を使用すれば、ピークの喪失や増大などの不自然な現象、リテンションタイムのシフト、積分の問題などを迅速に把握できます。また、ピークエクスプローラなどの新しいツールを使用して、異常値や不自然な結果などをシンプルかつ視覚的に表示し、データに関する考察を迅速に得ることができます。

レポートエラーの防止

OpenLAB CDS には、QC ワークフローの標準テンプレートセットが含まれており、これを簡単に変更してラボ独自のニーズに対応できます。Microsoft Excel などの別のソフトウェアに結果をエクスポートしなくてもレポートを作成できます。また、ビルトインのカスタム計算機能によってシステム内に主要なデータをすべて保存できるため、データのエクスポートや手動での転記によるエラーを防ぐことができます。

科学者の声

「OpenLAB CDS は、基本的な機能で十分なユーザーでも、複雑な解析などの高度な機能を必要とするユーザーでも使用できます。」

「3 種類のソフトウェア製品が 1 つにまとめられているため、サポートが非常に楽になりました。」

OpenLAB CDS の 3 つの優れた特長

1	レポート作成 重要な点に特化	主要なデータを整理された読みやすいパッケージで収集、提示できます。テンプレート、ドラッグアンドドロップによる直感的なレポート作成、高度なカスタム計算機能などにより、複雑なレポートでも迅速、簡単に作成できます。
2	監査証跡レビュー 最新のコンプライアンス	規制要件に簡単に対応するため、電子記録の一部として、監査証跡レビューの確認と文書化を行うことができます。また、監査証跡と記録を同時に確認できます。
3	ユーザー環境 簡単に習得可能	革新的で一貫したユーザーインターフェースにより、新規ユーザーでも使用しながらすぐに簡単に習得できます。対話的なオンデマンドチュートリアルガイドを使用すれば、特定のタスクやプロセスを手順に従って操作できます。

移行の簡素化

お客様のニーズに合わせた設計

OpenLAB CDS は、製薬 QC ラボのニーズに合わせて設計されています。このため規制に準拠して、正確なデータの収集、解析、共有を迅速に行うことができます。

ビルトインの柔軟性

さらに、このソフトウェアのビルトインの移行ツールを使用すれば、ChemStation と EZChrom の既存のメソッド、データ、レポートを再利用できるため、これまでの作業を無駄にすることがありません。

OpenLAB ソフトウェアで開かれる未来

ラボ管理を効率化する OpenLab ソフトウェア製品群により、ビジネスの価値を高めるためにデータを収集、解析、共有できます。また、アジレントと知識豊富なプロフェッショナルサービスコンサルタントが、あらゆる段階でお客様をサポートします。そのため、この包括的なソフトウェア製品群のメリットを導入直後から実感していただくことができます。

クロマトグラフィーデータシステム : OpenLAB CDS

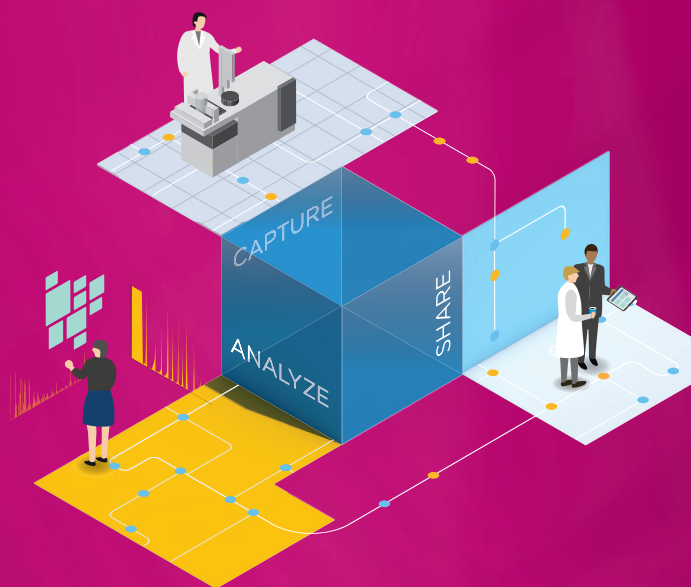
- アジレント製とアジレント製以外の両方の機器を制御
- データ解析およびレポート作成の高速化
- ラボ全体を一元表示できるビューで機器を監視
- ラボと IT のプロセスの合理化

データ管理 : OpenLAB ECM

- 時間や場所に関係なく、データと情報にアクセス可能
- 実験の開始から終了までファイルを保護
- 規制遵守の業務をサポートし、知的財産を管理
- 紙の使用量を削減

電子ラボノート : OpenLAB ELN

- 複数の分析システムからラボの結果を取得
- 高度なクエリ管理による、迅速なデータの検索と取得
- 共同研究や共同作業の簡素化
- 知的所有権の保護と記録のトレーサビリティの維持



ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタマコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本資料に記載の情報は、予告なしに
変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2015

Printed in Japan December 18, 2015

5991-6550.JAJP



Agilent Technologies